

筑 紫

会報 第 5 9 号



発行者 社会福祉法人筑紫会 理事長 吉原 毅
 障害者支援施設 真壁授産学園 電話 0296-55-4007
 〒300-4422 茨城県桜川市真壁町亀熊 1464-1
 障害者支援施設 真壁厚生学園 電話 0296-54-2578
 〒300-4422 茨城県桜川市真壁町亀熊 8 5 2
 編 集 筑紫会報 編 集 委 員 会



スポーツフェスティバル（授産）／レクリエーション大会（厚生）開催 令和2年5月

目 次

・行事のお知らせ	1 P
・新型コロナウイルス感染症との闘い、共存	2 P
・太陽の手作りマスクプロジェクト	2 P
・未来へ繋ぐ、よりよい作業空間のために	
（JKA補助金事業）	3 P
・園舎内外修繕・改装報告	3 P
・施設内行事・イベント	4 P
・あたらしい風（新規職員紹介）	5 P
・令和元年度決算報告	6 P
・ありがとう善意の心	7 P
・入退職者、入退所者のお知らせ	8 P
・NHK歳末たすけあい助成事業	8 P
・情報発信のお知らせ	8 P
・編集後記	8 P

§ 行事のお知らせ §

十月五日	健康診断	（授産）
十月十五日	健康診断	（厚生）
十二月	クリスマス会	各施設
一月四日	忘年会	各施設
一月	仕事始め	（授産・厚生）
一月	新年会	各施設
二月四日～三月三日	真壁のひなまつり	
三月	三者面談	（授産・厚生）

今年度の冬季外泊帰省は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、中止となる可能性がございますので、ご理解とご協力の程宜しくお願い致します。

新型コロナウイルス感染症 見えない敵との闘い、そして共存

真壁厚生学園 主任 杉山幸恵

日本での新型コロナウイルス感染症
初確認後、茨城県において三月中旬に
感染者が出ました。その時、今の状
況を想像できたでしょうか。日々刻々
と変化する感染状況の中で、生活様式
の変化、ご利用者様や職員にかかるス
トレスの軽減など、フレキシブルな対
応が求められる時代になりました。

▼生活の変化

様々な制限がかかる生活において、
当初は環境の変化に慣れずに戸惑い、
心身のバランスが崩れてしまった方も
見受けられました。私たち職員も、感
染症に対する不安を感じながら日々の
業務を行うに当たり、吉原理事長より、
そのような状況の中でも『経験の再構
成』は必要であり、ご利用者様も新た
な経験をすることで、落ちていく
との助言をいただきました。

▼感染症対策とストレスの軽減

外出や外泊、毎年恒例のイベントを
楽しみにしていたご利用者様。新型コ
ロナウイルス感染症予防対策により、

相当ストレスが溜まっているように伺
えます。また、私たち職員も不要不急の
外出を控え、予防対策の徹底を行って
いる中で、他県の入所施設での集団感染の
情報が入り、「もし、自分たちが感染し
たら・・・。」と不安がよぎりました。
ストレス緩和のため、真壁授産学園・
真壁厚生学園ともに、ご利用者様が楽
しめるミニイベント企画を実施してい
ます。

真壁授産学園では、B級グルメ大会、
クレープ大会、かき氷大会等のミニイ
ベントが盛りだくさんの他、コロナに負け
ない体力づくりとして、パーソナルトレ
ーナーによるオンライントレーニング
を実施しています。

真壁厚生学園では、花見でのバーベキ
ューを実施しました。また、イースター
のイベントでは、デイズニーの飾り付け
を施した中での映画鑑賞。運動会に代わ
るレクリエーション大会や夏フェス、最
新のカラオケ機を導入し、思いっきり歌
ってストレスの発散。ご利用者様と職員
でハウスキーピングや大掃除も実施し、
清潔な環境で快適に過ごすことができ
るよう取り組んでいます。

▼ウイルスとの闘い、共存

現状、今の生活スタイルに慣れてき
たご利用者様も多くなってきました。
また、ご家族の皆様からのご支援や温
かいお言葉に、ご利用者様、職員一同
励まされております。今後、職員間で
も知恵を出し合い、このコロナ禍にも
負けず、ご利用者様が楽しめる企画を
実施して参ります。

新型コロナウイルス感染症という見
えない敵との闘いは、これからも続い
ていきます。しかし、これからは『ウ
イズコロナ』と言われるような、コロ
ナウイルスとの共存も視野に入れなけ
るべきです。

太陽の手作りマスク プロジェクト発動！

社会福祉法人筑紫会と桜川市地域お
こし協力隊のコラボレーション企画と
して、太陽の手作りマスクプロジェクト
が発足しました。コロナ禍で大変な
時だからこそ、桜川市民の皆さんに太
陽のような笑顔になってほしいという
願いを込めて、ご利用者様と職員が協
力してマスクを作成しました。

地域おこし協力隊とは、地方自治体
が都市住民を受け入れ、地域おこし協
力隊員として、地域協力活動に従事し
てもらいながら、当該地域への定住、
定着を図る取り組みです。当法人から

ればなりません。コロナ禍以前と同様
の生活に戻ることは難しいと考えられ
ているのが現状です。更なる感染症対
策向上のために何ができるのか。また、
その上でご利用者様に充実した生活を
送っていただくために何ができるの
か。かつてない危機に直面した今だか
らこそ、私たちは一致団結してコロナ
に『挑戦』し、『共存』する必要がある
のではないのでしょうか。ご利用者様の
未来のために、今後も継続して感染防
止対策に関して再考と実践を重ね、心
身ともに充実した生活が送れるよう取
組んで参ります。

のマスクを地域住民の方に届けてほし
いというお願いを、快く引き受けてく
ださいました。

この度の新型コロナウイルス感染症
の流行に伴い、マイナスイメージで
しまったことは確かにあります。しか
し、今回の地域おこし協力隊のような
素晴らしい方々との新たな出会いもあ
ります。現状を
悲観するばかり
でなく、今だか
らこそできる新
しい取り組みを、
これからの積極
的に行っていき
たいと思います。



未来へ繋ぐ、よりよい作業空間の為に

〈現状〉

溶岩窯パン工房 マカパン店長 飯島正美

真壁授産学園では平成二十三年四月、就労継続支援B型事業を開始し、平成二十四年溶岩窯パン工房マカパンを開設しました。多くの方に支えられ、マカパンの開設から約八年が経過しようとしています。これまで室内作業班、農耕班と切磋琢磨し、ご利用者様の平均作業工賃は当時の約二倍強へと引き伸ばすことができました。しかし、ここ数年は横ばいの状況が続き、時代や地域のニーズに則した変革を各作業班が求められています。

〈補助金申請の背景〉

マカパンにおいて、ご利用者様の作業工賃向上、そして更なるやりがいや働く喜びを感じていただく為には、①オペレーションの大幅な改編②当法人ご利用者様の更なる可能性の模索③更に専門性の高い作業環境作り④製菓ブランドディングへの時間創出、が必要であると考えました。そして、商品の安全性を確保するにあたり、『危害要因を除去・低減させるための重要な工程の管理における根拠となる仕組み作り』を行う為にも、機器の拡充が必須であると考え、二〇二〇年度競輪公益資金による体育事業その他の公益の増進を

目的とする事業に関する補助金の申請を致しました。

〈交付決定！〉

申請の結果、公益財団法人JKA様より補助金交付の決定をいただくことができ、授産機器(自動分割丸め機、ドウコン、金属探知機)の導入に当てさせていただく予定です(※二〇二十年九月予定)公益財団法人JKA様に心より感謝申し上げます。

〈そして、これから〉

いま私たちは新型コロナウイルスの感染拡大による未曾有の只中にあり、日常は様々な制約に晒され、我が国の経済も苦境に喘ぎ、当法人のご利用者様・ご父兄・職員の生活にも大きな支障が生じています。未だ予断を許さない状況は続いています。ご利用者様の『生命の安全』を最優先に考え、ご利用者様と支援員が今以上にイキイキと働ける職場環境を創出したいのです。皆様の生活が本来の姿を取り戻し、ご利用者様の地域における生産活動の幅を広げられる日が、一日も早く訪れることを切実に願っております。

園舎内改修・改装工事報告 令和元年度各所整備完了

【真壁授産学園】

▼トイレ・水回り改修工事

入所ご利用者様の高齢化並びに重度化に伴い、転倒リスクを軽減する素材のタイル床に変更、小便器・大便器の自動化・洋式トイレへの変更。また、洗面所、風呂場、交流ホーム水回り等の老朽化に伴い、修繕及び自動感知のできる機械の導入。その他にも、経年劣化のため壁面のクロス張替え、小便器・流し排水管の尿石詰まり等除去、ウォーム便座への張替・電気工事等を追加し、無事完了致しました。

自動化された水回りは、現在問題とされている感染リスクの軽減にも繋がると思われます。

○改修工事費 12,232,000円

○追加工事費 1,976,700円

▼ボイラー取替工事

三十三年間使用してきたボイラーが急に不具合を起こし、一式取り替えることになりました。ボイラーが使用できないことで約二十日間、お風呂は厚生学園を利用して頂き、工事費用は後援会様が全額、助成くださいました。

○ボイラー取替工事費

4,950,000円

ご協力いただいた後援会の皆様、関係機関の方々に感謝申し上げますとともに心よりお礼申し上げます。

日頃の感謝の気持ちを込めて・・・

【真壁厚生学園】

◇ハウスキーピング◇

ご利用者様と職員が連携を取りながら、掃除や網戸の張替えを行い、園舎内の隅々まで綺麗になりました。汗を流しながら頑張った後のアイスを笑顔で頬張るご利用者様が印象的でした。

◇ペンキ塗り替え◇

環境整備計画の一環として、手すりにスロープやバックネット、ブランコまで、シックな焦げ茶色からポップなイエローにモデルチェンジ！気分が上がる明るいイエローも良い雰囲気です。ご利用者様からも大変好評です。

◇芝桜植え◇

ご利用者様の協力のもと、園舎前の土手一面に職員総出で芝桜を植えました。一つ一つ穴を掘りながら植えていく地道な作業ですが、終わった後の達成感もひとしおで、皆さん満足感に満ちた表情をしていました。花が咲けば土手一面を鮮やかに彩ってくれることでしょう。

新たにペンキを塗り替えた綺麗なイエローの外観と、色とりどりの芝桜のカラーレーション。これからの楽しみです。



元氣ハツラツ！サマーフェスティバル！

【八月二十九日 真壁授産学園】

▼緊急事態の中で・・・

社会福祉法人筑紫会、夏の一大イベントとして毎年開催されていた『夏祭り』。今年もご利用者様の期待に応えるべく、準備をして参りましたが、新型コロナウイルスという想定外の事態により、真壁授産学園、真壁厚生学園両施設合同での開催が困難となってしまいました。しかし、ご利用者様を悲しませてしまう、中止という選択はありませんでした。

この出口の见えない状況の中、思い切り楽しんで、一筋の光を見出していただけたらという想いを胸に、理事長を始め授産学園施設長が検討を重ねてきた結果、ご父兄や外部の方はお招きせず、各施設での開催となりました。

▼サマーフェスティバル当日

そして迎えたサマーフェスティバル

当日。授産学園の園舎裏には櫓が組みまれ、その周りには、『かき氷』や『焼きそば』『娛樂』『フランクフルト』など、夏祭りに相応しいたぐさ



んの模擬店が並び、ご利用者様にお腹一杯召し上がっていただきました。その合間には、夏祭りには欠かせない『盆踊り』も行いました。

ご利用者様が大好きな『真壁音頭』や『大東京音頭』『石投げ音頭』など、思い切り踊っていたきました。ご利用者様からは、「やっぱり夏祭りと言えば盆踊りだよー！」「踊るのは楽しいよー！」という喜びの声があらこちらから聞かれ、職員一同、コロナ禍の中、救われる想いでした。踊りの後には、メインイベントとして『花火』を行いました。毎年の夏祭りで行っている花火は、後援会の皆様による大々的な花火ですが、今年は小規模で行いました。手持ち花火で和気藹藹、それもまた味があるというものです。ご利用者様全員が、目を輝かせて花火を行っていました。

▼来年こそは！

今年の夏祭りは、残念ながら各施設での開催となってしまいましたが、ご利用者様の表情を見ると、その一瞬だけでも、新型コロナウイルスのことを忘れていただけたのかなと感じました。そして、参加した全員の心に浮かんだのが『来年こそ！』です。

来年こそは、新型コロナウイルスが終息し、いつもの大々的な夏祭りが開催できることを願っています。



7月のイベント

★七月にはイベント二つ！★

新型コロナウイルス感染防止のため、『外泊や外出の自粛中でもご利用者様が楽しめるイベントを！』という趣旨のもと、二つのイベントを開催しました。

○七月四日 パントッピング大会！

外出自粛の中、マカパンのパンを思う存分味わってもらおうと、五種類あるトッピングの中から好きな味を選び、コッパンに挟んだり、塗ったりして食べま

した。トッピングはどれも好評で、特にあんこ&ホイップクリームがすぐに売り切れてしまうほど大人気でした。その他にもイチゴジャムやピーナッツクリームも人気で、食べたご利用者様からは「とてもおいしいね！」「といった声が聞かれました。また、お代わりをするご利用者様も多数おり、三本近く食べるご利用者様もいました。

○七月十一日 かき氷大会！

「かき氷がたべたい！」というご利用者様の要望に応え、抹茶・レモン・ブルーハワイ・イチゴの各種シロップとあんこ、練乳を用意して、各々、好きな組み合わせで食べて頂きました。

その中でも、抹茶あんこが大変人気で早い段階で売り切れました。パンの時と同様にご利用者様には、あんこが好みの方が多いようです。食べ終わるとご利用者様から「またかき氷やつてね」等の声が聞かれ、2つのイベント

はご利用者様にとつて、良いリフレッシュになったと思います。今後もご利用者様の笑顔のために、様々な企画を立てて参ります。



初 レクリエーション大会!

【五月二日 真壁厚生学園】

今年度は運動会ではなく『レクリエーション大会』という初のイベントを五月に行いました。その為、ご利用者様に新鮮な気持ちで行事を楽しんで頂けるよう、従来の運動会にはない、『フライングディスク』『宝探し』等の新しい種目を取り入れています。本来であれば、毎年五月は両施設合同で、ご父兄の皆様もご招待して運動会を実施するのですが、全国的に新型コロナウイルス感染症が流行していることから運動会は中止になりました。



また、ご利用者様にはご理解を頂いた上で、外泊・外出も自粛して頂いています。そのような中でも何か施設内で楽しめるような事はないかと模索した結果、レクリエーション大会を実施することになりました。

当日は天候に恵まれ、晴天の中、レクリエーション大会を開催することができました。新種目の『フライングデ

ディスク』では、初めて行うご利用者様が多かったこともあり、苦戦している方も多く見受けられました。しかし、競技の間、徐々にコツを掴んだのか、プロ並みの腕前を披露される方もいました。



また、もう一つの新種目である『宝探し』では、ご利用者様と職員混合でいくつかのチームに分かれ、グラウンドに隠してある得点が書かれた紙が入ったカプセルを探すという方法で行いました。行っている最中は「ここにあったよ!」「あそこに隠してあったよ!」等の声が聞かれ、かなり大盛り上がりの様子でした。

初めての取り組みでしたが、思い切り体を動かすことで、気分転換になりました。ご利用者様に楽しんで頂くことができたと思います。今後も趣向を凝らした行事や企画を催し、ご利用者様が安全に楽しく参加できるよう努めます。

厚生シアター開演!

新型コロナウイルスの影響で外出や外泊が出来ないことから、非日常の空間を提供する為、デイズニーイベントのDVD上映会を開催しました。普段は活動の場ですが、入り口にイースターの卵の飾りやDVDの内容に合わせたデイズニーキャラクターの飾りつけを行うと、ご利用者様は笑顔で喜ぶ様子が見られました。また、映画館のような雰囲気、チケットをミッキーの形にして入場の際、職員がチケットを切り、ご利用者様に

夏フェス

レクリエーション大会に続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、夏祭りに代わる行事として、『夏フェス』を実施しました。内容としては、事前にご利用者様から希望をとり、映画鑑賞がカラオケ大会かの好きな方に参加して頂き、昼食は模擬店の焼きそばやかき氷等を食べて頂き、スイカ割り大会も行いました。ご利用者様には事前に希望を取った為、好きな方に参加して頂くことが出来、映画を楽しむ方もいれば、カラオケで好きな曲を歌う方もおり、高得点を取った方にはメダルの授与がありました。

運動会や夏祭りと、皆さん楽しみにしていた行事が中止になってしまっている中で、ご利用者様には新鮮な気持ちで楽しんで頂くことが出来ました。特にカラオケが好評であり、今後もカラオケをする機会をたくさん設けようと思われました。



にチケットを渡すと「これらもらっているの?」と喜ぶ方もいました。鑑賞しやすいように椅子を並べ、上映前に用意した紙袋に詰めたポップコーンと紙バックのジュースを飲みながらスクリーンにくぎ付けで楽しんでいました。今後の余暇支援の在り方を考える良い機会になりました。



あたらしい風

今年の新任職員のみなさんをご紹介いたします。紹介文は、①出身地

②趣味 ③好きな言葉 ④メッセージを伺いました。

◆真壁授産学園◆

支援員 高信 遥

①日立市 ②読書、美術展巡り ③人の振り見て我が振り直せ
④まだまだ分からないことが多いですが、そういった点は先輩職員の方々に聞き、少しずつ着実に仕事を覚えていきたいと思っています。ご利用者様が笑顔で充実した毎日を過ごせるように、思いやりのある支援を目指して頑張ります。



支援員 廣 菜々子

①神栖市 ②絵画 ③置かれた場所で咲きなさい

④社会人としても、福祉に関しても初心者ですが、この仕事を通して色々な経験をし、人として成長できるように、日々努力を積み重ねて行こうと思います。また、責任感を持ってご利用者様の支援をさせていただきます。

支援員 矢口 文也

①鉾田市 ②音楽鑑賞 ③感謝

④福祉の仕事に関わる事が初めてで、様々な方から日々勉強させていただいています。現在、真壁授産学園の室内作業班でご利用者様の支援をさせて頂いていますが、ご利用者様の作業に対する熱意をひしひしと感じています。私も負けないくらい福祉の仕事に対して熱意を持って取り組んでいきたいと思っています。そして、いつも分からないことを教えて下さっている先輩方に、感謝の気持ちを持って日々精進していきたいと思っています。



事務員 檜山 来夢

①桜川市 ②体を動かすこと、読書 ③向き、不向きより、前向き

④まだまだ未熟者ではありますが、先輩方のようにになれるよう頑張っていきます。そしてご利用者様とたくさんコミュニケーションを取っていきます。明るく元気に日々努力していきます。



調理員 山口 諒

①栃木県真岡市 ②買い物、アニメ、マンガ ③やらない善よりやる偽善

④ご利用者様との接点が少ないですが、厨房から出来る限りの支援を行いたいと思っています。最近になり、ご利用者様自ら話し掛けてくれるようになって、とても嬉しいです。不慣れなところが多いですが、早く出来る事が増えるように努めます。

調理員 古高 より子

①青森県八戸市 ②携帯ゲーム『ポコポコ』『パン巡り ③花より団子 ④美味しい食事を作って、笑顔になつてもらえるように頑張りたいです。



◆真壁厚生学園◆

支援員 今橋 優佳

①日立市 ②読書 ③継続は力なり ④各ご利用者様に合わせた支援が出来るよう心掛け、ご利用者様や職員の皆様とコミュニケーションをとりながら、頑張っていきたいと思っています。よろしく願います。



支援員 岡本 早稀

①筑西市 ②食べること、読書 ③一蓮托生

④ご利用者様が心地よく生活できるように試行錯誤しながら、支援をしていきたいと思っています。ご指導のほど、よろしくお願いします。

支援員 檜山 琴音

①常陸大宮市 ②猫や食べ物の写真を撮ること ③一生懸命な気持ちがあるなら大丈夫

④ご利用者様が楽しいと思える毎日にするために、様々なことにチャレンジしていきます。

事務員 戸田 夢乃

①鹿嶋市 ②ハンドメイド ③人生は一度きり。おもいっきり楽しもう!! ④日々少しずつでも学び、少しでも早く皆様の力になれるよう笑顔で仕事に取り組んで参りたいと思います。



平成 31 年度(令和元年度) 決算報告

社会福祉法人 筑紫会

資金収支計算書

(自) 平成31年 4月 1日 (至) 令和 2年 3月31日

(単位 : 円)

勘定科目	決算額
事業活動収入	511,883,628
事業活動支出	407,607,418
事業活動資金収支差額	104,276,210
施設整備等収入	294,798
施設整備等支出	52,916,635
施設整備等資金収支差額	-52,621,837
その他の活動収入	46,186,120
その他の活動支出	85,331,840
財務活動資金収支差額	-39,145,720
当期資金収支差額合計	12,508,653
前期末支払資金残高	248,064,881
当期末支払資金残高	260,573,534

事業活動収支計算書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和 2年3月31日

(単位 : 円)

勘定科目	決算額
サービス活動収益	506,240,762
サービス活動費用	433,765,824
サービス活動増減差額	72,474,938
サービス活動外収益	6,191,606
サービス活動外費用	2,405,970
サービス活動外増減差額	3,785,636
経常増減差額	76,260,574
特別収益計	0
特別費用計	174,548
特別増減差額	-174,548
当期活動増減差額	76,086,026
前期繰越活動増減差額	361,620,090
当期末繰越活動増減差額	437,706,116
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	45,357,400
その他の積立金積立額	83,200,000
次期繰越活動収支差額	399,863,516

貸借対照表

令和 2年 3月31日 (単位 : 円)

資産の部		負債の部	
流動資産	289,225,677	流動負債	45,236,770
固定資産	2,142,071,679	固定負債	29,313,130
		負債の部合計	74,549,900
		純資産の部	
		基本金	326,992,931
		国庫補助金等特別積立金	85,850,369
		その他の積立金	1,544,040,640
		次期繰越活動増減差額	399,863,516
		(内当期活動収支差額)	76,086,026
		純資産の部合計	2,356,747,456
資産の部合計	2,431,297,356	負債及び純資産の部合計	2,431,297,356

ありがとう 善意の心

◇桜川市社会福祉協議会様、セブンイレブン真壁町椎尾店様より、タオルや日用消耗品などを多数頂きました。日頃の生活の中で、両施設ともに活用させて頂きました。

◇筑紫会後援会有志様、青木理恵子様、君山誠様より手作りマスク約五百枚、高田章様よりゴム手袋六箱等日用品他、根本明様よりタオル等、根岸定雄様よりアルコール消毒等を頂きました。新型コロナウイルス感染症予防対策として、利用者・職員一同、活用させて頂いています。

◇根岸定雄様、大野芳廣様、野寺道子様、沼尻功様、中村ひろ子様、高田章様、根本明様、森下松寿様、浅野敬繁様、石山世喜子様、斉木明彦様より、ご利用者様へのおやつ、根本キイ様より新米を頂き、食事やおやつ時にご利用者様へ提供させて頂きました。

◇正根知進様より、自然栽培米専用農機具として、動力除草機一台を寄贈頂きました。来年の田植後の除草作業に活用させて頂きます。

両学園の事業にご支援頂き

誠にありがとうございます。

この場をお借りいたしました。

御礼申し上げます。

NHK歳末たすけあい助成事業

(令和元年度事業報告)

○真壁授産学園

毎年十二月に開催される『クリスマス会』において、チキンやケーキなど豪華な食事を厨房職員が腕によりをかけて提供いたしました。また、サンタクロースからのプレゼントを受け取るご利用者様方の笑顔はきらきらととても輝いておりました。

○真壁厚生学園

乾燥する時期に一定の湿度を保つことで、インフルエンザなどの感染症を予防するため、ご利用者様が生活する空間に『加湿空気清浄機』を設置いたしました。そのおかげもあり、今年は風邪を引くこともインフルエンザにかかることもなく元気に過ごすことができました。

ここに、共同募金会様（NHK歳末たすけあい）による県内外の関係者並びに多くの皆様方のご支援にこの場をお借りしまして、謹んで感謝申し上げます。



入・退職者、入・退所者のお知らせ

▽入職者

2 / 1 付

調理員 土田 良子 (厚生)

▽退職者

3 / 3 1 付

支援員 湊 陽介 (授産)

支援員 菅野 利穂 (授産)

7 / 3 1 付

支援員 池田 健一 (授産)

世話人 白井 光子 (厚生)

▽入・退所利用者

入所ご利用者様

2 / 2 0 付 矢田 桃花 (授産)

通所ご利用者様

7 / 2 3 付 池田 良二 (授産)

退所ご利用者様【入所】

7 / 2 2 付 飯島 義守 (授産)

利用変更ご利用者様【通所↓入所】

5 / 1 付 郡司 貴央 (厚生)

郡司 久 (厚生)

○お知らせ

新型コロナウイルス感染拡大状況により、『行事のお知らせ』に記載されている『真壁のひなまつり・三者面談』は中止となる場合がございますので、ご理解ご協力下さいますようお願い致します。

☆令和元年度表彰受賞者☆

受賞おめでとうございます。
今後も健康にお気をつけ、ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

☆茨城県社会福祉協議会会長表彰

主任 藤田 浩幸 (授産)

副園長 高橋 浩成 (授産)

栄養士 古橋 美幸 (授産)

調理員 兼村 匡人 (授産)

主任 杉山 幸恵 (厚生)

主任 小原 孝明 (厚生)

副主任 葛西 剛 (厚生)

☆桜川市地区優良安全運転者表彰
支援員 和田 純一 (授産)



編集後記

今年は長い梅雨が明けると一気に真夏が到来し、残暑が厳しい日々が続いております。長時間のマスク着用による熱中症なども多いとニュースで報道されています。『コロナ疲れ』などという言葉もありますように、くれぐれもご自愛のほどお祈り申し上げます。